

(問5)新幹線開業後の成果と菊池川流域の振興について

(1)菊池川流域への観光客誘致について

- 菊池川流域には、国史跡指定の鞠智城や万田坑、国指定重要文化財の八千代座など、国内外に誇る素材が多数存在。また、新玉名駅を起点とした観光振興は極めて重要だと認識。
- これまで、鞠智城・万田坑等のPRや米米惣門ツアー、八千代座を絡めた旅行商品の開発等を推進。その結果、平成23年における菊池川流域の観光客数は、対前年比5.2%増と県平均を上回っている。
- 現在、JR西日本とのタイアップキャンペーンにおいて、宿泊客を対象に温泉無料入浴券「くまもと湯巡手形」を配布。今後は、このような取組みを推進すると共に、引き続き、菊池川流域の観光素材を広くPRする。
- 地域振興、観光振興を推進している官民の力の結集は、大変重要であると認識。来年4月に設置する予定の県北広域本部において、市町村や関係団体等と連携を図り、広域的な取組みを推進。

(2)山鹿灯籠の伝統工芸品指定への取組みについて

- 国の指定要件を満たす団体が、灯籠師等によって、来る12月20日に設立され、平成25年度での指定を目指すとしている。
- 県では、山鹿灯籠の文献資料等の調査を行ってきた。引き続き、山鹿市や県伝統工芸館等とも連携しながら、国の指定に向けて、可能な限り支援を行っていく。